

# 葦の家後援会たより

2015年6月号

発行 葦の家後援会 発行日 2015.6.9  
〒814-0153 福岡市城南区樋井川 4-1-17  
Tel・Fax 092-866-4842  
E-mail asinoie@blue.ocn.ne.jp  
HP <http://www.ashi.sakura.ne.jp/>



## 30周年、そして新たなステージへ

葦の家後援会 会長 坂本良二

無認可作業所として「葦の家」が産声を上げて、今年で30周年になります。その立ち上げからずっと仲間たちの暮らしのことを第一に考えられ、力強く過ごされてきた理事長、大石敏子さんが、昨年度末お亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

大石さんの苦難の足取りとともに、葦の家も成長し、多くの仲間たちが利用し、地域の方々からもたくさんのご支援をいただけるようになってきました。そして、今年度からは、前回のお便りで概略をお知らせいたしました新しい中期計画もスタートしました。私たちも大石さんの御遺志を継ぐべく、仲間たちのより良い暮らしのために、これらの計画を形あるもの、実のあるものにしていく責任を痛感しているところです。

そこで、来る7月11日(土)17:00より、後援会総会と合わせまして、中期計画の概要を説明させていただきます。その中では、今まで話題だけだった「第2通所施設」の計画も具体的に法人からご説明できるように、ただいま準備を進めていただいているところです。会員の皆様とともに広く一般にもご説明できる初めての機会になると思います。特別支援学校の保護者の方々にとりましても興味津々の耳寄り情報になるのではと思われます。ぜひ足をお運びいただくとともに、お知り合いの方々にもご周知いただけたらと思っています。

併せて、現在「夏の物販」をお願いしています。カタログにあります葦の家オリジナル製品の売り上げは、仲間たちのUSJへの旅行資金にも反映される工賃につながります。アルミ缶回収と共にオリジナル製品のご注文もよろしくお願いいたします。もちろん食料品・日用品のご注文の方もお忘れなく…。

最後に、今年度の会員更新の方もよろしくお願いいたします。また、新規の方のご紹介もいただけたら嬉しいです。会員の方々に入会してよかったとだけ思っただけのような会を目指してこれからも努めてまいります。どうぞご支援ご協力よろしくお願いいたします。

では、後援会総会でお会いいたしましょう。



## 夏季物品販売にご協力下さい

年度内にも第2グループホームの建設のめどが立ってきましたが、仲間たちが安心・安全に楽しく生活するための設備・備品の準備が必要です。今年度の物品販売では、ホームの設備・備品購入資金の調達を目標に取り組みます。併せて、葦の家の仲間たちのオリジナル製品も販売しています。皆様のご協力をお願いします！詳しくは同封の趣意書およびカタログをご覧ください。

ご注文の締切日は**平成27年6月26日（金）**です！  
Faxか郵送にてお申し込み下さい。



## 平成27年度後援会総会を開催します

下記の日程で、後援会総会を開催します。今年は、会の方針、決算に加え、中期計画や今年度から具体的に動いている事業の準備や課題等について会員の皆様に詳しくご説明します。また、お菓子やジュースで歓談の場もご用意しています。是非ご参加ください。

- 日 時：7月11日（土）17：00～18：30
- 場 所：葦の家食堂
- 内 容：平成26年度決算、27年度事業計画、予算  
第3次中期計画概要の報告、説明
  - ・第2グループホームの建設、第2通所事業の準備概要
  - ・児童支援の方向性と課題、短期入所事業のニーズと課題など質疑・意見交換、交流

みんな、きてね！



## 訃報

去る3月22日未明、当法人の大石敏子理事長がご自宅にて逝去されました（享年78歳）。悪性腫瘍を患われ、5年間の闘病生活を送られましたが、終末期は重い障がいのある息子様とともに過ごす道を選ばれました。故人の遺志を尊重させていただき、関係各位への連絡が遅くなりましたことにご理解の程お願い申し上げます。

故人は、養護学校時代には、PTA活動で体育館やプールの設置、スクールバス運行などに尽力されました。高等部卒業後、どこにも行き場がなかった卒業生のために、無認可の共同作業所を開設し、作業所の法人化を実現されました。無認可作業所時代から、障がい者の支援は専門性がある。自前でお金を作っても職員を確保しなくてはならない。との思いから資金集めに悩まされ苦難の道を歩まれました。

葦の家開所時は一時、国の認可が降りず法人化の道が閉ざされ、ご心労から黒髪が白髪になり片耳が難聴になりました。

平成20年に福岡市が重度障害者医療費助成制度の一部有償化を打ち出された際には、当事者団体の代表として、議会請願の先頭に立たれ撤回に貢献されました。行政や議会を陳情で回られる際に、初期症状だったであろう背中が痛いとしきりに言っておられたことが思い出されます。

何事もふつうを大切に、公平と愛に生きた方でありました。最後に、理事長の合言葉だった“みんなは一人のために、一人はみんなのために”という一文を添えさせていただきます。

社会福祉法人葦の家福祉会  
福山 良弘

## 季節の花



### 「大きな花」

大きな大きな花が一輪散った。  
季節は冬が過ぎ、花咲く春になろうかとする頃。  
障がい者福祉の世界は春になっているだろうか。  
我々はこの花が残した種となり、さらに大きな花を咲かせて実を結ばなければならない。  
心よりご冥福をお祈りいたします。

切り絵 青木昭憲

## 職員を大募集中です！

第三期中期5ヵ年計画を策定し、その実現に向けて動いています。しかし、グループホーム、通所施設、ホームヘルプ、ショートステイなど全ての事業でスタッフの確保が必要です。同封のチラシの内容で職員を募集しています。会員の皆様のお知り合いで、お心当たりのある方がいらっしゃいましたら、お知らせください。 092(873)7481



## 仲間たちの楽しい旅行にむけて アルミ缶の回収にご協力ください！

今年の11月17～19日に葦の家では仲間たちの宿泊旅行を計画しています。今回の行先は大阪のユニバーサルスタジオジャパン(USJ)です。障がいの重い仲間たちが滞在先でゆとりを持って活動できるよう、今回初めて2泊3日の日程を組みました。旅行費用として仲間たちは2年以上コツコツと工賃から積立を行なっていますが、保護者の方にご負担をお願いしても、まだ1人あたり5000円ほど足りません。そこで、「アルミ缶チャレンジプログラム」と題して、仲間たちのアルミ缶回収作業で不足分を補おうと仲間、職員皆で取り組んでいます。ご家庭や職場で出るアルミ缶のご提供を別紙の要領でお願いします。

**月に454kgの回収をめざしています！  
アルミであれば、缶だけでなく、サッシや  
ホイールなどでも構いません。**

5,040円×54人=272,160円 アルミ缶1kg100円として2,722kg  
6カ月で2,722kgとすれば、月に454kg、1日で22kg(一袋5kg×約4袋)

※45ℓの袋2つ以上から、お電話いただきましたら回収にお伺いします。

連絡先：092(834)3361 (生活介護 葦の家 担当：堤)